

民家園グッズ作成中です

お土産として持ち帰った先で民家園の話題を出すきっかけとなるようなグッズの検討を福島学院大学の学生さんと行っています。「思わず手に取りたくなるグッズ」を目指してアイデアを出し合っています。

完成したグッズは民家園入口スペースで販売する予定です。



民家園ふれあい祭り

民家園全体で楽しめる「ふれあい祭り」を11月5日に開催。地元産の新そばの出店のほか、昔の遊び体験や旧広瀬座でのバンド演奏など、子どもから大人まで幅広い世代の皆さんが楽しみました。

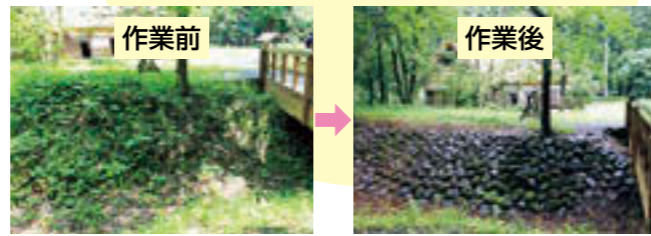


「霞堤」とは？

急流河川で多く見られる堤防です。不連続な堤防で水の勢いを弱めて流す特殊なもので、先人の英知が感じられます。

霞堤手入れ大作戦

園内の土木遺産「霞堤」の特徴である石積み雑草で覆い隠されてしまっていたため、協議会会員や市民の皆さんで除草作業を行いました。民家園の魅力の一つである「霞堤」への理解と愛着を深め、これからも地域で守っていこうと気持ちを高めました。



民家園で行われている年中行事

時節ごとに行われていた先人たちの祈りと知恵を体験！

小正月

平成29年1月9日(祝) 午前10時～正午
どんど焼き、だんごさし、行事の説明会・昔話など。



「どんど焼き」では正月飾りなどを燃やすことで、正月に来た神様を送り出し、「だんごさし」ではミズキや梅の木の枝に紅白の団子を付けて五穀豊穡を祈りました。

正月迎え

12月18日(日) 午前10時～正午
各民家に正月飾りを飾り、正月様を迎える準備を行う。餅つき、行事の説明・昔話など。



正月飾りを飾ることで家全体が神聖な場所になり、新しい年と一緒に神様の加護を引き入れることが祈られていました。

月	行事
1	・小正月
2	・節分
3	・おひなさま
5	・男の節句 ・田おこし ・田植え
6	・むけの朔日
7	・たなばた
8	・盆の行事
9	・お月見
10	・稲刈り、脱穀 ・子ども秋まつり ・収穫祭
12	・正月迎え

地域の人たちが

民家園を育てる

平成28年6月に、民家園の活性化を目指し、民家園のボランティア団体、民家園を取り巻く周辺地域の団体、観光やまちづくり関連の方々で組織する「福島市民家園活用推進協議会」(以下「協議会」)が設立されました。協議会では、民家園の

①市民が集い、憩い、楽しむ場の
②観光振興・都市間交流の推進

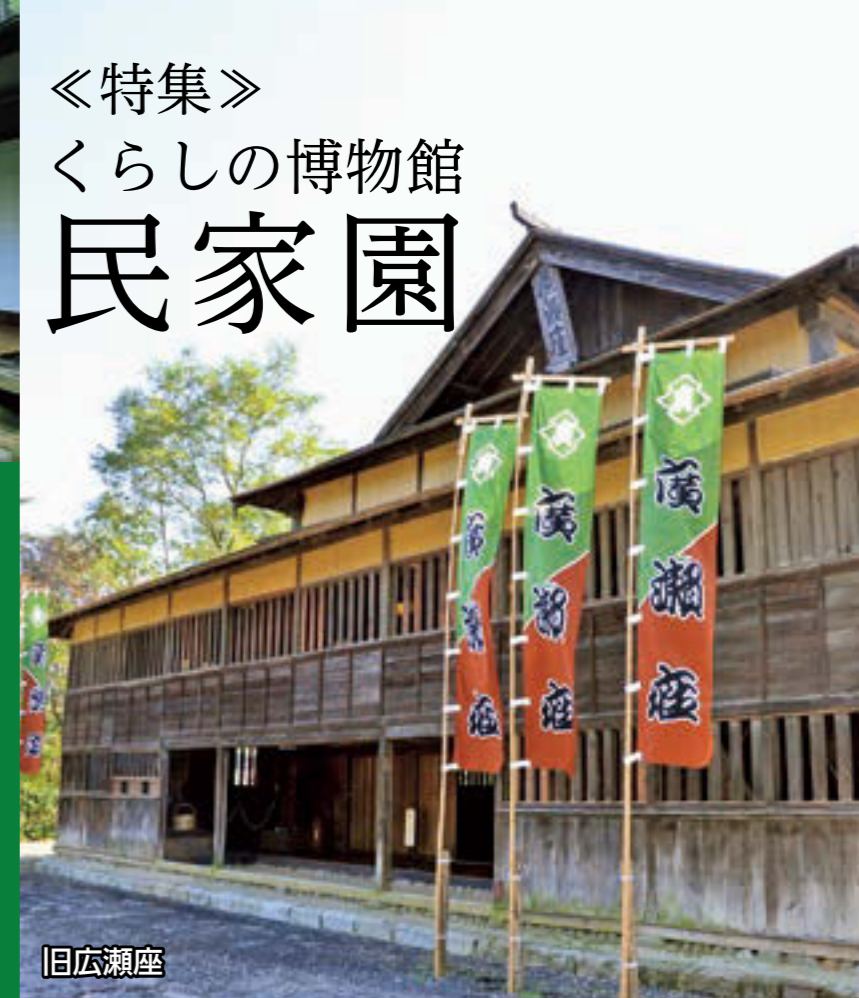
としての活用策などを検討・実施しています。

メンバーがアイデアを出し合いながら、魅力の発信としてポスター・グッズの作成、民家園と地域の資源を生かした新たな魅力あふれるイベントの開催、冬期間の活用アイデアの検討を実施しています。

《特集》
暮らしの博物館
民家園



元客自軒



旧広瀬座

福島市民家園

住所/上名倉字大石前地内

(あづま総合運動公園内)

開園時間/午前9時～午後4時30分

休園日/毎週火曜日、年末年始

※火曜日が祝日の場合は、その翌平日が休園。

※12月6・13・20・27・29日～平成29年1月3日が休園。

入園料/無料

問/☎593-5249



旧算家宿



旧小野家

素朴な昔の暮らしが
そこで生きている

昭和57年8月に開園した福島市民家園(以下民家園)は、1年を通して「昔の暮らし」が体験できる施設です。

江戸中期から明治時代にかけての一般農家、養蚕農家、宿店、芝居小屋、料亭などが移築復原され、特色ある建物を自由に見学できます。

建物内は生活用具の配置により当時の環境が再現され、周りには井戸や風呂場、板倉、火の見やぐらなどが復原・複製してあり昔の暮らしぶりが感じ取れます。

ボランティアの皆さんの協力により、地域に伝承されるさまざまな年中行事の再現や、わら細工などの体験行事も行っています(※P3参照)。

自然への感謝の気持ちを大切に暮らしていた私たちの先祖たち。民家園でその文化に触れてみてはいかがでしょうか。

